

教育研究所だより

～充実した教育活動の推進を目指して～

宮古島市立教育研究所

所長 多良間 勉

宮古島市城辺字福里600-1-

電話0980-77-4955

【宮古島市子ども像】

宮古の自然や文化に誇りを持ち 国際化時代をたくましく生きる創造性に溢れた明るい子

○教育研究所って・・・どんなところ？

(1) 歴史を知る

昭和57年：宮古市町村教育長会が県立教育センター宮古分室の設置要請を行う。

昭和62年：県教育長より分室設置はできないという回答

平成17年：宮古市町村教育長会が宮古市町村会へ市町村合併の目玉として「宮古島市立教育研究所」の設置を要請

同年3月：3月議会で設置承認

平成18年4月：宮古島市立教育研究所開所式
初代所長：島袋正彦(兼任)就任

(2) 歴代所長 (平成20年度より専任)

初代：島袋正彦(平成18年度～19年度)

第2代：本村幸雄(平成20年度～21年度)

第3代：與儀千寿子(平成22年度～23年度)

第4代：宮川時子(平成24年度)

第5代：野原敏之(平成25年度)

(3) 設置の目的

教育に関する専門的・技術的事項の研究及び教育関係職員の研修を行う。

(4) 歴代研究教員

第1期	①乾 麗子(平一小養) ②与那覇彰子(久松小)	H18
第2期	③嘉手苺美智恵(久松中)	H19
第3期	④砂川栄作(砂川小)	H20
第4期	⑤福原理恵子(南小)	H20
第5期	⑥友利尚子(北中)	H20
第6期	⑦下地沙織(伊良部小)	H21
第7期	⑧近藤崇士(東小)	
第8期	⑨仲榊京子(狩俣小)	H22
第9期	⑩狩俣典明(北中)	
第10期	⑪福原 保(西城小)	H23
第11期	⑫上田達大(久松小)	
第12期	⑬上里光枝(福嶺小) ⑭砂川千賀(西辺中)	H24
第13期	⑮下地利津子(北幼) ⑯下地 林(西辺小) ⑰下地直樹(久松中)	H25

(5) 方針

宮古島市立教育研究所は、生涯学習への視点にたつて、学校教育、社会教育、家庭教育の直面している課題を積極的に取り上げ、教育実践に結びついた教育活動の推進に寄与する。

① 職員は自らの資質を高めるように努力し、協同体制のもと、子ども・学校・保護者への援助を行う。

② 本市の現状を把握し、教育現場のニーズにあった援助を行う。

③ 各教育機関との連携を図り、効果的な援助を行う。

(6) 事業内容

①調査・研究：各種調査・検査の実施及び実践的研究を推進し、学校教育の充実に努める。

②研修：入所研修、教職員研修、教育文化講演会等研修事業の充実に努める。

③情報・広報：情報機器の整備、紀要の刊行、図書資料の充実、教育情報の提供。

④教育相談：来所相談、電話相談、学校・家庭訪問相談等の実施。

⑤適応指導教室(下地庁舎3階)

「またいだ教室」の充実に努める。

(7) 職員構成

所 長：多良間 勉
指導主事：下地忠夫(専任)
指導主事：松本 尚(兼任：学校指導課主事)
またいだ教室指導教諭：濱川貴美子
またいだ教室指導員：玉城湖紀、前泊美千代
教育指導員：立津和代、久貝清順

○所長挨拶

4月1日付けで宮古島市立教育研究所長を拝命しました多良間勉です。平成25年3月に定年退職。その間、多良間中、池間中を経て高校へ転勤、県教育センター研究教員、県教育庁保健体育課勤務を経て、地区内の高校教頭・校長となる。38年間の教職経験を生かし、更に精進し本市の教育活動の推進を目指して頑張る所存です。どうかよろしくご願ひ致します。